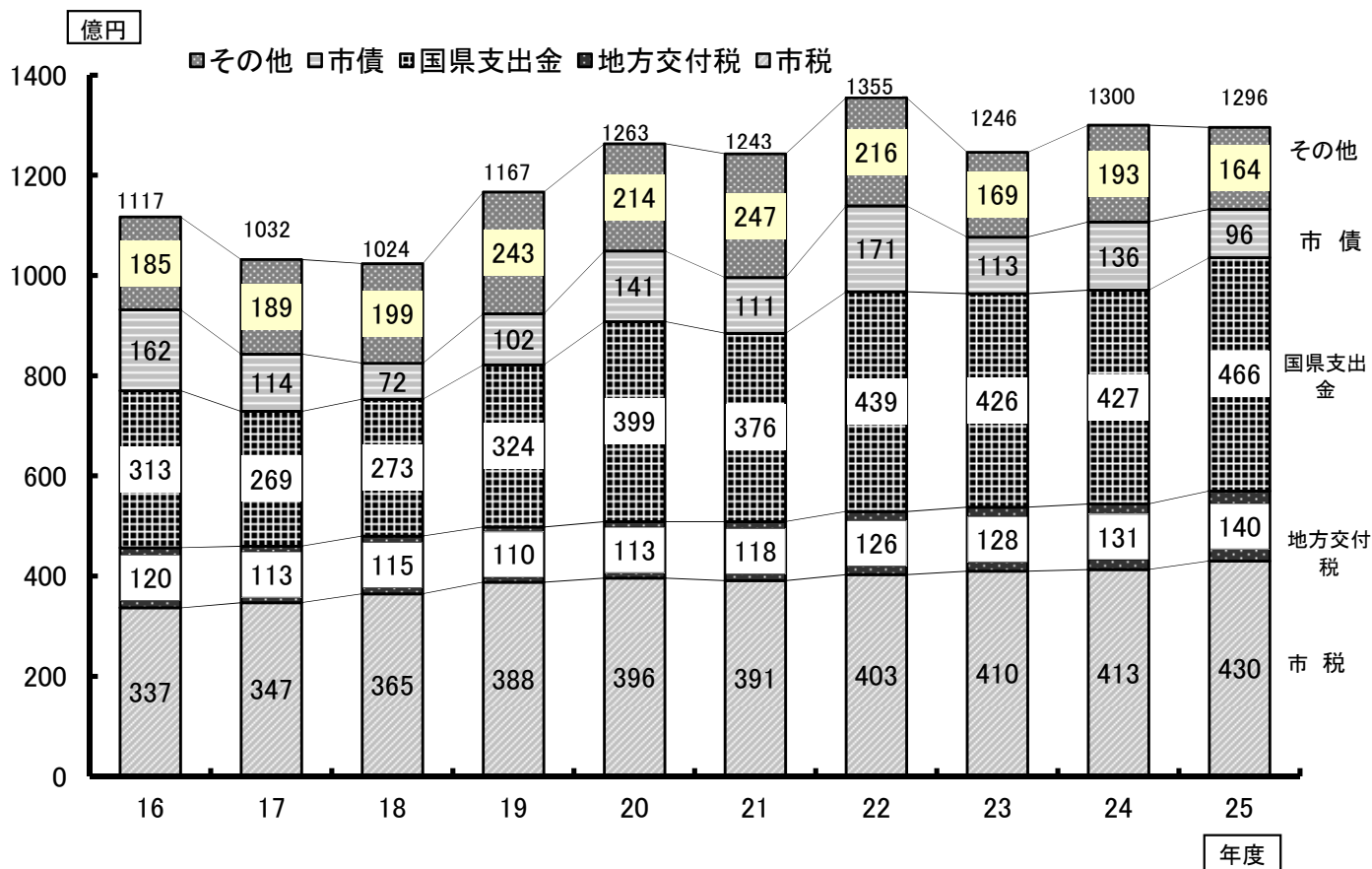


歳入(科目別歳入の推移)

◆那覇市の平成16年度以降の普通会計の科目別収入の推移

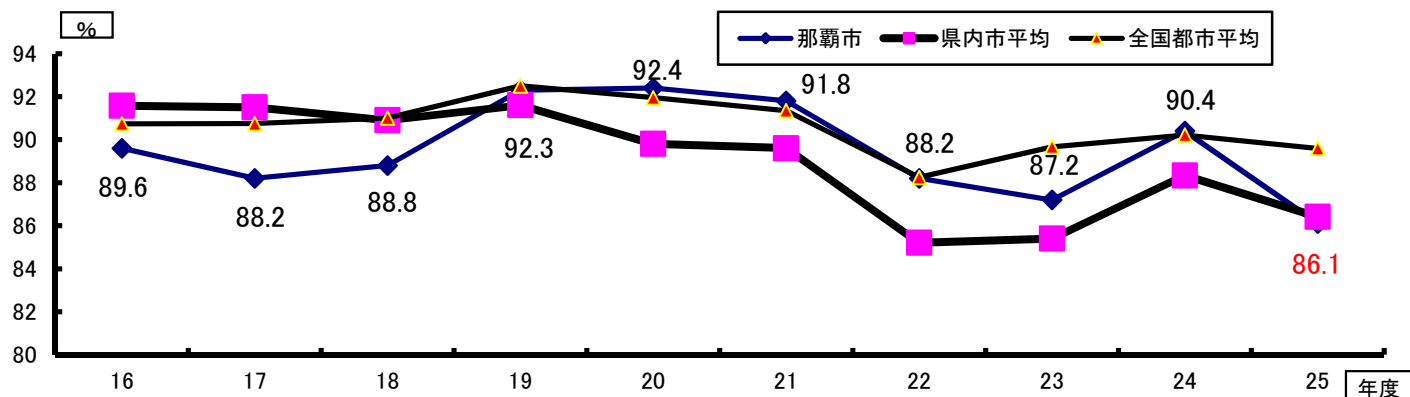
平成16年度と平成25年度を比較すると市税については、新都心地区の開発や税源移譲等が要因となって、約93億円増加しております。ほか、地方交付税や国県支出金等の全体に占める割合は、概ね同程度で推移しています。



【経常収支比率】

経常収支比率は、市税・地方交付税などの経常的な一般財源収入が、人件費・扶助費・公債費などの経常的に支出される経費に、どれだけ充てられているかを示した指標です。その団体の財政構造の弾力性を判断するものです。この比率が高いほど一般財源のほとんどが経常的な経費に費やされるため、使途の自由度がなくなり、市民の新しいニーズへの対応や投資的経費に充てる財源が少ない状態であることを示しています。一般的に経常収支比率は70～80%が望ましいとされています。

◆那覇市、県内市平均、全国都市平均の推移



平成16年度と平成25年度を比較すると3.5%の減となっています。平成25年度は、全国都市平均の89.59を下回っており、対前年比においては4.3%の減となっています。これは、扶助費に係る経常収支比率が対前年度1.6%増となったものの、人件費(2.5%減)、公債費(2.0%減)に係る経常収支比率が減となったためです。